

平成27年度第4回西仙北地域協議会会議録

平成27年10月8日

西仙北地域協議会

平成27年度第4回西仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	1
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	4
(1) 平成27年度地域枠予算の要望について	4
(2) 地域協議会及び地域枠予算運用の問題点・課題に対する改善案について	11
(3) 大仙市地域づくり推進事業検証シートの使用について	12
■その他	13
■閉会	14
■署名	14

■日 時：平成27年10月8日（木）15時から

■会 場：大仙市役所西仙北庁舎3階会議室

■出席委員：10名

浅原道子委員 小山田吉伸委員 後藤昌伸委員 金啓一委員 齋藤繁吉委員
佐々木孝太郎委員 佐々木好美委員 信田徹委員 篠原勝委員 俵谷武雄委員

■欠席委員：6名

池田裕毅委員 金子真由美委員 佐々木京子委員 佐藤美佐子委員 戸島めぐみ委員
菅原多加雄委員

■出席職員：7名

嵯峨 耕咲（西仙北支所長） 今田 勝子（市民サービス課長）
佐藤 弥（農林建設課長） 小山田幸哉（西仙北中央公民館長）
高橋 良子（地域包括支援センター西部主幹） 新田 雅昭（地域活性化推進室主席主査）
佐藤 剛（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
 - (1) 平成27年度地域枠予算の要望について
 - (2) 地域協議会及び地域枠予算運用の問題点・課題に対する改善案について
 - (3) 大仙市地域づくり推進事業検証シートの使用について
- 6 その他
 - (1) 今後の事業について
- 7 閉 会

(15時00分 開会)

○小山田館長（以下「館長」と表記）

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたのでただ今から第4回西仙北地域協議会を開会いたします。開会に先立ちまして後藤会長か

ら皆様にごあいさつをお願いします。

○後藤西仙北地域協議会会長（以下「会長」と表記）

第4回西仙北地域協議会を開催しましたところ、お忙しい中多数のご出席をいただきましてありがとうございます。本日は平成27年度の地域枠予算の事業要望について、7件の申請が提出されております。また、地域協議会及び地域枠予算運用の問題点・課題に対する改善案について、また大仙市地域づくり推進事業検証シートの使用について皆さんからの忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

○館長

ありがとうございました。続きまして西仙北支所長の嵯峨より皆様にごあいさつ申し上げます。

○嵯峨支所長（以下「支所長」と表記）

本日はお忙しいところ、また、台風23号による暴風警報発令中の悪天候の中、「第4回西仙北地域協議会」にご出席いただきまして、ありがとうございます。

今年の夏は、お盆頃までは、気温も高く好天が続いておりましたが、お盆過ぎからは、ぐずついた天気となりました。稲刈り作業は9月中旬から始まり、現在では最終盤を向かえておりますが、水稻の作況指数は県南で「やや良」の102と発表されております。

さて、前回の協議会以降の西仙北地域の主な動きについて、ご報告させていただきます。

まず、8月15日、「ふるさと西仙まつり」が開催されました。前日からの降雨により雄物川が増水している中での開催となりましたが、関連イベントとして、地域枠予算として承認いただきました「ふるさと西仙ふれあいコンサート」とほじの会主催の「納涼ビールまつり」も開催されました。21日には、県の教育庁主催の「第7次秋田県高等学校総合整備計画 第2次素案に関する説明会・意見交換会」が西仙北中央公民館で開催され、西仙北高校を大曲高校の分校とする、などの再編整備案が示されました。

なお、8月11日、大仙市長並びに大仙市議会議長、西仙北高校後援会会長の三者で、高等学校再編に対する要望を県の教育長、県知事に対し、行っております。

28日には、西仙北自治連絡協議会と地域出身市議会議員との懇談会、その後、地域振興計画の原案について市議会議員との協議を行っております。29日には、西仙北中学校主催による「だいせん防災教育『生き抜く力育成』事業」と題しまして、地元住民約100人を含め総勢約390人が参加した避難所開設訓練が行われました。ご協力いただきました皆様には、感謝申し上げます。30日には、特別養護老人ホーム「ウォームハート」開設10周年記念事業が行われました。31日には、西仙北雄物川中流改修強首地区促進協議会により、雄物川中流部河川改修事業の促進につきまして、秋田県建設部長に要望活動を行っております。今後10月19日には、国土交通省湯沢河川国道事務所や東北地方整備局、その後、国土交通省本省などに対しましても、要望活動を行うこととしております。

9月に入りましてからは、2日と3日に西仙北地域敬老会が、ユメリアで開催され、対象者

1,981 人の内、514 人の方から出席いただき、敬老者を祝福したところです。

同じく 3 日には、乙越の伊藤キクノさんが 100 歳を向かえ、老松副市長が自宅を訪問し、お祝いをしました。

今後の予定としましては、明後日の 10 日に西仙北高等学校創立 50 周年記念式典、12 日には、市体育協会西仙北支部主催によります「第 27 回西仙北黒森山健康マラソン大会」、10 月 31 日、11 月 1 日の両日には、にしせんぼく文化祭、3 日には西仙北少年剣道大会がスポーツセンターで、5 日からは東北学生将棋大会が青少年自然の家で、8 日は東北将棋大会大仙市長杯争奪戦がユメリアで開催されます。

なお、10 月 14 日に開催されます大仙市技能功労者表彰式におきまして、刈和野の鳥羽武治氏が左官業の技能功労者として表彰される予定となっております。また、首都圏にしせんぼく会が創立 20 周年を向かえ、11 月 7 日に千葉県成田市で記念総会が開催される予定となっております。大仙市からは市長を始め 7 名が参加する予定です。

次に、地域枠予算として承認となりました事業の状況ですが、「寺村自治会館修繕事業」と「西今泉自治会館修繕事業」が 6 月 21 日、「正手沢集落会館修繕事業」が 7 月 17 日、「添ノ又自治会館前舗装事業」が 8 月 24 日に完成したとの報告を受けております。

また、「すこやかサポートにしせん事業」の「西仙北こども夏祭り」が、7 月 25 日に、「雄物川クリーンアップ事業」と「亀田街道・雄清水まつり」が 8 月 2 日に開催されております。西仙北こども夏祭りには 153 人、雄物川クリーンアップ事業には 72 人、亀田街道・雄清水まつりには約 200 人が参加したとの報告がありました。

この後は、土川地区コミュニティ活性化交流事業の内、10 月 11 日に小杉山ふるさとまつり、18 日に心像まつりと半道寺ふるさと祭りが開催される予定であり、また、10 月 11 日にすこやかサポートにしせん事業の「米粉のお菓子づくり」が、中央公民館で開催される予定となっております。

また、市関係の事業としましては、柏台のメガソーラー事業のパネル組立作業が始まっております。また、新しい天神前市営住宅 3 棟の建築工事につきましては、間もなく始まる予定となっております。

なお、西今泉工業団地内で操業しておりました東京クロージング秋田が 7 月下旬に廃業し、残された従業員の処遇を心配しておりましたが、青森県に本社がありますオリジナルテクノロジーという同じ縫製業の会社が秋田県の誘致企業として 9 月 1 日から 40 人の従業員で操業を開始しております。

また、株式会社秋田今野商店に、旧大沢郷小学校の校舎部分を本年 2 月 1 日から貸与しておりますが、体育館部分の貸与につきましては、当初計画の本年 10 月からを来年 6 月以降に変更していただきたい旨の依頼がありました。

最後に、本日の案件は、地域枠予算の審議として I 型 3 件、III 型 4 件、他に地域協議会及び地域枠予算運用の問題点・課題に対する改善案について、などとなっておりますので、よろしくご審議くださいますようお願いいたしまして、あいさつに代えさせていただきます。

本日は、よろしくお願いいたします。

○館長

ありがとうございました。「大仙市地域自治区の設置等に関する条例」第8条第4項の規定により、会長が議長を務めることになっておりますのでよろしく願いいたします。

○会長

それでは、会議を始めます。今日の出席委員は、16名中10名で、2分の1以上出席しておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

次第の4、会議録署名委員を指名します。会議録署名委員には、俵谷武雄委員、浅原道子委員にお願いします。

それでは次第の5、議題の(1)平成27年度地域枠予算の要望について審議します。始めに「大仙市西仙北短歌会五十周年記念事業」について事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。無いようですので、「大仙市西仙北短歌会五十周年記念事業」については承認することといたします。次に、「強首地区交流事業」について事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。

○佐々木好美委員

今回の資料の中に継続事業に対する検証についても盛り込まれていますが、この交流事業は平成25年度から継続されていますが、毎年同じ内容なのでしょうか。また、変わっている部分はどこかお知らせいただきたいです。

○小山田吉伸委員

今年で3回目になるわけですが、生涯学習に関する展示の面で大分変わってきて、絵画や写真の展示品が増えてきているところです。展示場所が狭くて飾られないくらい作品が展示されております。芸能発表については、今年は中身を変えようと思っていましたが、実行委員の中から昨年と同じでいいのではないかという意見がありましたので、例年どおりやる予定です。

○佐々木好美委員

参加者は何人くらいですか。

○小山田吉伸委員

大体 200 名くらいです

○佐々木好美委員

毎年増えていっていますか。

○小山田吉伸委員

横ばいです。時期が 11 下旬で雪は降りませんが、寒いとなかなか人が集まりにくいというのが現状でして、それでも毎年 200 人くらいが集まって、地域の皆さんに大変喜ばれています。

○佐々木好美委員

この事業は地域の活性化、地域の交流事業の代表的な事業になっていると思います。でするので地域にとっては大事な事業になっていると思います。

○小山田吉伸委員

交流事業を始めたのは、地域の小学校・中学校の統合で、学校があった頃は父兄の方々の交流等があったのですが、それが無くなってこの事業を始めたところです。

○会長

他にご意見ございませんか。無いようですので「強首地区交流事業」については、承認することといたします。次に、「刈和野地区冬季交流事業」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について何かご意見等ございませんか。

○俵谷武雄委員

質問を受ける前に、私からも説明させていただきます。昨年の 2 月 9 日は猛吹雪で、また学校でも風邪が流行しておりまして参加者があまりいませんでした。それでも柳葉さんがきて手伝っていただけるので、近隣から多くの参加者がきまして景品が足りなくなりました。ですので、今度はその辺を少し工夫してやっていかなければならないと思います。

子どもたちも大変楽しみにしているようなので、これは何とか継続してやっていきたいと思っております。また、観光客に配布している豚汁ですが、150食分すぐなくなってしまおうという状況ですので、これも続けてやっていきたいと思っております。真冬の外でやる事業ですので、当日の天候次第で人の出入りが相当変わってくると思います。

○会長

ただいま補足説明がありましたが、何かご質問等ございませんか。無いようですので、「刈和野地区冬季交流事業」は承認にすることといたします。次に、「住民参加型まちづくり事業」について事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明について何かご意見等ございませんか。

○小山田吉伸委員

第1回、第2回目はすでに終わっていると思いますが、これほどのように処理されるのですか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

前回の協議会でも少しお話させていただきましたが、本来でありますと前回の協議会まで挙げなければならない案件でしたが、協議会の開催時期が合わないことを想定していましたので、前回の協議会の最後をお願いした経緯がありました。それで、今後の処理についてはもし承認いただければ今までの謝礼をお支払いすることになりますが、非承認だった場合NPOさんは非営利団体ですのでその辺は柔軟に対応していただけたということでした。

○佐々木好美委員

非常にいい事業だと思いますが、今後これをどう具体化していくかというところが難しいところだと思います。例えば地域協議会と協働で進めていくのか、あるいはそういう人たちを募って単独でやっていくのか、その辺をどう考えているか教えてください。

○事務局（地域活性化推進室新田）

今回に関しましては、具体的な目標を設定させていただきました。地域の中から出た意見を基に予算化してやっていくということも11月を目処にやっていきたいと思っております。ただ、集まっていたいただいているメンバーの顔ぶれを見ますと地域の人材資源としてかなり期待できるかと思っております。また、そのような人たちが地域や団体にとらわれず自由に

活動していってもらえればと思っております。こちらとしてみれば、そのメンバーが主導となって活躍できる団体になっていただければと思います。また、地域協議会の連携に関しましては、しゃべり場のメンバーの中にも地域協議会の委員の方がいらっしゃいますので、当然連携してやっていければというふうには考えています。

○佐々木好美委員

講師はどのような人ですか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

講師は横手にあります秋田県南サポートセンターというNPO法人の方です。

○佐々木好美委員

ただ成果を上げるには、その法人に頼ることだけではなく、やはり市と団体と地域協議会が連携して一緒になって取り組んでいかなければならないと思います。

○事務局（地域活性化推進室新田）

全くおっしゃるとおりだと思います。秋田県南サポートセンターにはそこで何かをやってもらおうというよりは、しゃべり場のなかでメンバーからの意見を拾い上げてまとめていただくという役割を担ってもらっているという状況です。ですので、その方に何かをやっていただくのではなく、事業に持つて行くまでのサポートをしていただいているということでございます。

○会長

第1回目は19名が参加になっていますが実際どのような方々に案内を出しているのですか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

最初は公募という形で募集しましたが、実際に応募したのは数名でございましたので、その他に20名ほどにお声がけして参加してもらっているという状況でございます。お声がけさせていただいた方々は、PTAの関係の方々ですとか先になって色々活動されている方等でございます。

○俵谷武雄委員

私もこれは非常に良い事業だと思います。高齢者ではなく、若い人たちが先頭になって活動できるような形を作っていただきたいと思います。そして地域のために活動していただけるように導いていただきたいです。

○小山田吉伸委員

私もすばらしい事業だと思います。西仙北地域全体からの参加者であればすごくいい事業になると思います。ですので、できればそのような形で進めていただければよろしいと思います。各地区から何人ずつ出ていますか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

各地区から4,5人等になるように選ばせていただいております。

○会長

今俵谷委員と小山田委員から意見がありましたので、その点を考慮しながら事業を進めていってほしいと思います。他にございませんか。

○佐々木好美委員

今まで2回ばかり開催しておりますが、感触はどうですか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

お声がけして集まっておりますが、思っていた以上に皆さん積極的に意見を出していただいております。これから第3回、第4回と回数を重ねて具体策を決めていく予定です。そして、そのしゃべり場のメンバーの中から全員は難しいと思いますが、数人でも来年度活動できる体制づくりを進めていきたいと思っております。

○会長

講師は一人15,000円でいつも同じ人が来るのですか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

はい、そうです。

○会長

他にございませんか。無いようですので、「地域住民参加型まちづくり事業」は承認することといたします。次に、「地域安全安心運動事業」について事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見等ございませんか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

補足説明ですが、平成21年度からの継続事業ですが、その前が交通安全会から支援をいただいております。実はこの事業に関しまして、他の地域では交通安全会でやっている事業でございまして、大曲地域に関しましては交通安全会でもやっておりません。今現在本庁の方からも他の地域と足並みを揃えるべきではないかという指摘を受けておりますので、来年度に関しましては安全会の方と協議して、安全会の方で対応可能かという部分を検討しながら進めてまいりたいと思います。今年度に関しましては、時間がございませんので、地域枠予算を活用させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○会長

来年度に関しては、担当課と安全会が協議して決めていくそうですのでよろしくお願いいたします。他にありませんか。無いようですので、「地域安全安心運動事業」については、承認することといたします。次に、「西仙北地区芸能文化交流事業」について事務局より説明をお願いします。

○会長

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見等ございませんか。

○佐々木孝太郎委員

これは公民館事業としてできないのですか。

○小山田公民館長

各地区館については、臨時職員を配置いたしまして貸館業務の受付等を行っていますが、公民館事業としては現在中央公民館を中心として事業を展開しております。公民館の職員も年々減ってきているところですので、現在は6名最盛期では11名おりまして、各地区館毎に職員を配置して事業を行うことが可能でしたが、現在大きい公民館事業となれば10月31日、11月1日西仙北文化祭のみということになります。各地区館の事業としては開催していないというのが現状でございます。

○会長

地区館まつりがあるのは土川と大沢郷だけですか。

○小山田吉伸委員

強首は集落会長会でやっていて、地区館まつりではありませんので趣旨が違うかと思えます。

○小山田公民館長

土川と大沢郷につきましては、担当職員を1名ずつはり付けまして、会計等の事務処理を行っています。

○会長

西仙北文化祭にはどれくらいの予算が使われているのですか。

○小山田公民館長

西仙北文化祭につきましては、そんなに多く予算をかけておりませんので、消耗品の部分に7,8万くらいです。

○会長

地区館のまつりにそれなりの金額をかけて、西仙北文化祭にほとんどかけないとすれば全く逆のように感じますが。

○篠原勝委員

その地区の人からすれば、わざわざ刈和野まで来なくてもその地区で楽しむことができるのでいいのではないですか。

○会長

色々ご意見ありましたけれど、「西仙北地区芸能文化交流事業」については承認することといたします。最後になりますが、「地域文化の継承事業」について事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

○会長

私からすいませんが、刈和野の大綱引きは市を代表する伝統行事の一つですので、これこそ一般予算でできないものかどうかと思います。これは毎年要求しているのですか。

○今田市民サービス課長

毎年地域枠予算を活用していますので、要求はしていません。

○佐々木好美委員

これは地域枠予算の検証項目にもありましたので、今年は時間がありませんから仕方ないかと思いますが、来年度からは一般予算化していくような形をとるべきではないでしょうか。

○俵谷武雄委員

例えば中仙のドンパンまつりなどはどの予算を使っているのですか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

基本的に地域でやっているお祭り例えば刈和野の大綱引きですとか中仙のドンパンまつりですとか仙北の彩火せんぼくなどは地域行事とみなされて、地域枠予算を活用して行われているのが現行のスタイルでございます。ですので現在地域枠予算ガイドラインの見直しを行っていきまして、どこまでが一般予算でどこまでが地域枠予算であるかというところの明確な基準が決まっていないというのが現状でございます。

○小山田吉伸委員

それでもやはり刈和野の大綱引きに関しては一般予算でやるべきであって、地域枠予算は本当にその地域のために使われるべきだと思います。

○会長

他にございませんか。無いようですので、「地域文化の継承事業」については承認することといたします。次に、議題の(2)地域協議会及び地域枠予算運用の問題点・課題に対する改善案について会議に出席しました佐々木孝太郎副会長より説明をお願いします。

○佐々木孝太郎副会長

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただ今の説明に対してなにかご質問等はございませんか。

○佐々木好美委員

現在の少子高齢化・人口減少の現状から、地域活性化、地域づくりの観点から地域協議会の役割も非常に大事になってきていると思います。地域協議会では様々な意見は出されますが、地域協議会が主導で何かをやるなど、そういった面が不足していると思います。地域振興や活性化に繋がっていないと資料に書かれていますが、それは全くそのとおりだと思います。地域協議会の担当の職員2名いらっしゃいますが、担当者の意見としてどうお考えでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

各地域の担当者2名ずついまして、これまで計4回会議を開きまして地域協議会、地域枠予算の現状・課題について話し合いを行ってまいりました。これまでの地域協議会は、地域枠予算の要望について審議をするという場で収まっているのが現状だと思います。そ

これは西仙北地域協議会のみならず、他の地域協議会でも同じような状況でございました。

現在 30 代から 50 代の方々の現役世代の方々を集めて「しゃべり場」というものを行っておりますが、その方達と地域協議会が一緒になって何かできないかと考えております。地域のために協議会が主導となって、何か一つ取り組みができればいいと思っております。

○佐々木好美委員

資料の 2 番目のところにもありますが、委員の活動について実際委員がその事業を見て検証するということが必要だと思います。例えばその委員の地元で行われる事業は、その事業に行って実際に見てみるというのが必要です。

また、委員の研修についてであります。これは非常に大事なわけですが、委員が研修を受けることで、共通理解、共通認識を持つことで協議会がよりよいものになっていくと思います。

○会長

他にありませんか。

○信田徹委員

一昨年のおふれあい文化センターの委員研修で、岩手県から講師の方がいらして、分科会に分かれて意見を出せと言われてましたが、何も出せませんでした。その研修の中で、その講師の人が言うには、地域協議会の下部組織みたいなものがある、そこから出た様々な意見や要望を地域協議会で議論するということでした。やはり、色々な方から様々な意見を聞くという場が必要ではないかと思えます。

○佐々木好美委員

地域枠予算はⅠ、Ⅱ、Ⅲ型がありますが、やはり市としてはⅢ型が望ましいということですか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

はい、会議の中では市と市民による協働のまちづくりのためには、市が主体となるⅠ、Ⅱ型より、Ⅲ型の方にウェイトを置いた方がいいのではないかという意見がありました。しかし、全て補助金で行ってしまうのかという疑問があります。

○会長

他にありませんか。無いようですので次に大仙市地域づくり推進事業検証シートの使用について事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただ今の説明に対してなにかご質問等はございませんか。

○佐々木好美委員

先ほども言いましたが、地元で行われている事業については、委員が行ってこのシートを使って検証するということが必要だと思います。誰が、どの事業に行くかというのは、事務局が案を出してください。

○事務局（地域活性化推進室新田）

わかりました。

○信田徹委員

これを記入するのは誰になるのですか。

○事務局（地域活性化推進室新田）

基本的には、我々事務局が記入します。その中で分からないところが出てきた場合は、申請団体を呼んで聞き取りしながら記入することになります。先ほど佐々木委員もおっしゃっていましたが、地元で行われている事業を委員の方に見ていただいて、その結果を協議会の場に出していただければと思います。

○館長

会議の方はこれで終わりですが、事務局の方からご連絡がございます。

○事務局

お疲れのところすいません。次の第5回目の地域協議会は、12月の22日に開催したいと思います。次回の協議会終了後に、市長をお呼びして懇談会を開催したいと思いますのでよろしくお願いします

○館長

これもちまして第4回地域協議会を閉会いたします。長時間に渡りご苦労さまでした。

(17時00分 閉会)

西仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

浅原道子

俵谷武雄
